平成29年12月22日

第四回「知の拠点」整備構想検討委員会資料

前回の議論について

第3回検討委員会における主な意見について (要約)

■キャンパス整備

- 〇新学部棟、両大学文理連携拠点施設として1号館を改修すること、3号館を取得し改修することについて優先度が高いと考える。
- 〇「知の拠点」整備構想の策定にあたっては、グランドデザインを描いた上で年次 計画をたてることが重要。
- ○情報はスピードが大切。また、これからの少子化社会を見据え、少しでも子ども を北近畿地域に留まらせることを考えると、新学部の設置はなるべく早期のほう がいいのではないか。
- 〇キャンパス整備計画の実現に向けて、優先順位をつけて段階的に取り組んで いただきたい。

「知の拠点」整備構想検討まとめ(案)

概要版

平成29年12月 「知の拠点」整備構想検討委員会

「知の拠点」整備構想検討まとめ(案)

■構成

- 第 1 「知の拠点」整備構想の検討にあたって
- 第2 福知山公立大学、京都工芸繊維大学の概要
- 第3 福知山公立大学、京都工芸繊維大学の学部・学科体制等 の方向性
- 第 4 福知山公立大学、京都工芸繊維大学の地域連携・産官学金連携・文理連携の方向性
- 第5 キャンパス整備基本方針等
- 第6 福知山公立大学、京都工芸繊維大学の施設・設備及び 教育・研究環境等の充実に向けての解決すべき課題
- 第7 キャンパス整備

第1

- 福知山市は、文系の福知山公立大学、理系の国立大学である京都工芸繊維 大学福知山キャンパスが同一キャンパス内に併設するという大きな特色を有し ており、両大学が互いの強みを活かし地域連携・文理連携を推進することによ り、地域への若者定着や地域が求める人材育成、産業イノベーションの創出、 さらには豊かな文化、生涯学習機会の提供を通じて、福知山市を含む北近畿 地域全体の活性化が期待される。
- 国における地方大学の振興による地方を担う多様な人材の育成や産官学連 携による地域の中核的な産業振興の促進に係る議論、福知山公立大学開学 後の状況変化等を踏まえ、『教育のまち福知山「学びの拠点」基本構想』(平成 27年3月策定)において多様な者が学ぶ「学びの拠点」として位置づけていた 両大学を、多様な者が「知」を磨き、地域活力の創出、地方創生への展開を図 る「知の拠点」に発展させるため、両大学の教育環境等を充実するための具体 的な実施方針である『「知の拠点」整備構想』を策定する必要がある。

1 福知山公立大学の概要

学部	学科	入学定員
地域忽带学 如	地域経営学科	95人
地域経営学部	医療福祉経営学科	25人

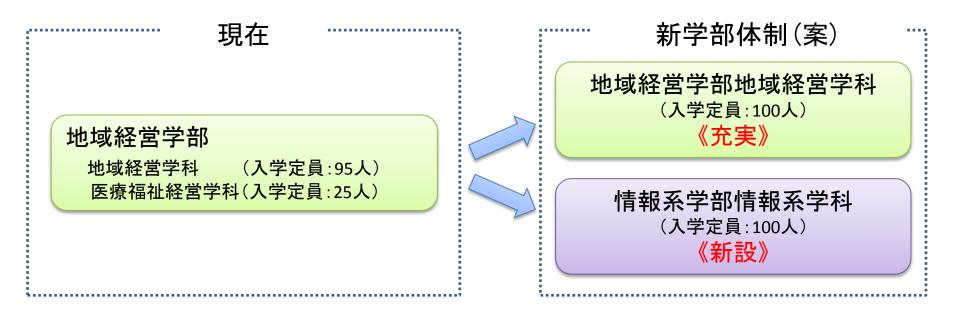
2 京都工芸繊維大学の概要(30年度から)

学部	学域	関連する課程	入学定員	
工芸科学部	応用生物学域	応用生物課程	2人	
地域創生 Tech Program	物質•材料科学域	応用化学課程	10人	
	設計工学域	電子システム工学課程 情報工学課程 機械工学課程	10人	
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程	8人	

- 3 立地
- 4 主な施設の概要

第3

◆公立大学法人福知山公立大学の学部・学科体制(案)



既存学部である地域経営学部の充実を図るとともに、平成32年度を目処に新学部 として「情報系学部」を設置し、2学部体制とする。 「知の拠点」づくりは、福知山公立大学、京都工芸繊維大学による文理連携施策の推進に加え、福知山市長のリーダーシップのもと、福知山公立大学、京都工芸繊維大学を中心に地域社会、企業、自治体、金融機関、その他各種団体との連携による推進体制(コンソーシアム)を構築することにより、地方大学の振興、地域を担う人材の育成、北近畿地域の産業の振興、若者雇用の創出など、様々な地方創生施策を実現する拠点を作ることを目指している。

こうした「知の拠点」推進体制(コンソーシアム)の中核を担う拠点、両大学の共同施設として、

- (1)地域連携拠点(北近畿地域連携センター、まちかどキャンパス)
- ②産官学金連携拠点(北近畿地域連携センター、まちかどキャンパス)
- ③文理連携拠点(ラーニング・コモンズ、情報系連携大学院)

の3つの機能を有する拠点の設置を検討いただきたい。

1 基本方針

福知山公立大学、京都工芸繊維大学の高度な教育・研究活動を支えるとともに、地域連携・文理連携の推進並びに地方創生を牽引する産官学金連携を積極的に実施することを可能とする「知の拠点」にふさわしい機能的キャンパスを整備すること。

2 施設機能整備の方向

- (1)両大学・地域との「連携」のための施設・設備等の整備
- (2) 両大学の「教育研究」のための施設・設備等の整備
- (3)両大学の福利厚生のための施設・設備等の整備
- (4) 両大学の居住環境改善のための学生宿舎等の整備
- (5)地域連携、産官学金連携の充実に必要となる両大学へのアクセス環境の整備

3 キャンパス整備の視点

子どもから高齢者までだれもが安心・安全に学ぶことができるよう、バリアフリー対策、防災対策の視点を踏まえてキャンパス整備を行うこと。

第6 福知山公立大学、京都工芸繊維大学の施設・設備及び教育・研究 環境等の充実に向けての解決すべき課題 本文12頁から13頁

(1)両大学・地域との「連携」のための施設・設備等

- 〇両大学が文理連携を推進するに当たっての拠点となる共同利用施設がない。
- 〇公立大の地域連携・産官学連携のための拠点として「北近畿地域連携センター」を開設しているが、 現時点では人員等の課題から北近畿地域の様々なニーズに対応しきれていない。

(2) 両大学の「教育研究」のための施設・設備等

- ①教育•研究環境等
 - ○新学部を設置することになった場合、4号館だけでは講義室、演習室、教員研究室が不足。

②耐震性等

- 〇耐震性が低い施設がある。
- 〇「京都府福祉のまちづくり条例(平成24年改正版)」や「福知山市ユニバーサルデザイン推進指針 (平成28年3月)」に定めるバリアフリーに関する整備基準に合致するよう配慮が必要。

(3) 両大学の福利厚生のための施設・設備等

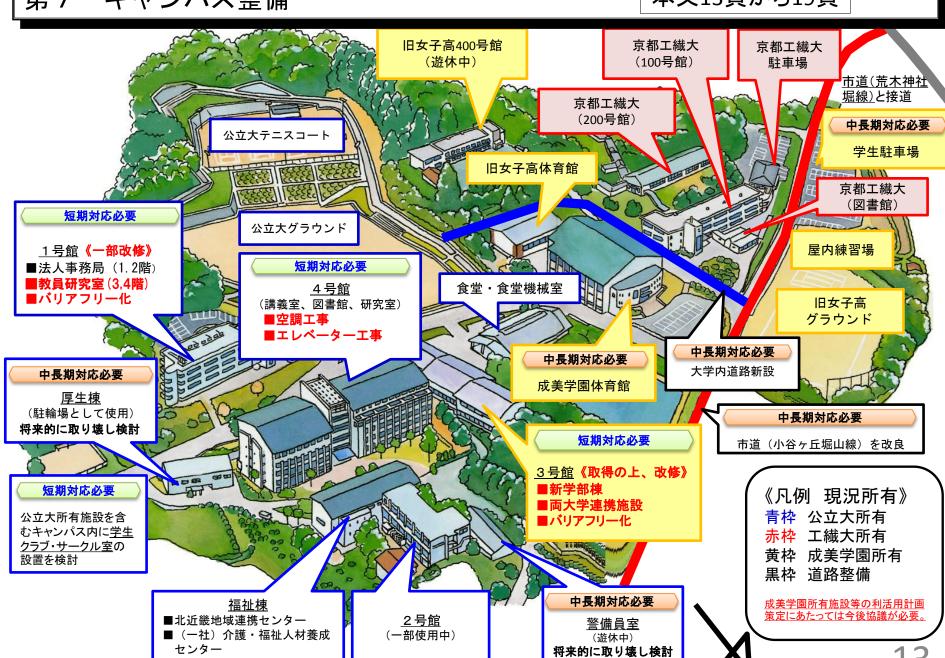
学生の憩いの場である食堂、そして、充実した大学生活を送るうえで大きな要素になるであろうクラブ・サークル活動を行える環境を学生に提供できていない現在の状況は、在学生が大学生活を送るにあたっての最低限のニーズを満たしていると言えない。

現在の状況が続けば、公立大に対する満足度の低下を引き起こすとともに、ひいては今後の 学生募集活動にも大きな影響を与えかねない。

- (4) 両大学の居住環境改善のための学生宿舎等
 - 〇福知山公立大学には学生・教職員の専用宿舎がない。
 - ○福知山市の民間住宅の賃料は近隣市町より高い水準にあるとの声が多く、特に学生に とって経済的負担が大きい。
 - 〇平成30年後期から京都工芸繊維大学の学生も福知山市で学ぶため、学生の住宅環境 の確保は喫緊の課題。
- (5)地域連携、産官学金連携の充実に必要となる両大学へのアクセス環境
 - 〇主道路の整備、教職員・学生・来訪者用専用駐車場の確保、公共交通の充実等に向けて 取り組んでいく必要がある。

第7 キャンパス整備

本文13頁から19頁



13

1 必要とする施設機能

<u>' </u>								
	施設機能	具体的機能						
1	両大学・地域との 「連携」のための施 設・設備等	■地域連携・産官学金連携拠点施設 (例)北近畿地域連携センター、まちかどキャンパスなど						
2	両大学の「教育研 究」のための施設・ 設備等	■講義室、教員研究室等 ■共同研究施設 (例)相互利用のコンピュータ室、ラーニング・コモンズ、情報系連携大学院						
3	両大学の福利厚生 のための施設・設 備等	■食堂■体育館、グラウンド■学生クラブ・サークル室						
4	両大学の居住環境 改善のための学生 宿舎等	■学生・教職員宿舎 ■地元不動産事業者との連携や市内空き住宅等を活用したシェアハウス、次世代下宿「京都ソリデール」事業等による学生住宅確保スキームの構築。						
5	地域連携、産官学金連携の充実に必要となる両大学へのアクセス環境	■メインアクセス道路 ■駐車場・駐輪場 ■利便性の高い公共交通環境(路線バス、鉄道等)						

2 施設整備等の概要

- (1)両大学・地域との「連携」並びに両大学の「教育研究」のための施設・設備等
 - ①施設整備

短期(H30~32) 中長期(H33~39)

	1		<u> </u>	T		
名称	階数	耐震	現況利用状況	利活用計画		
1 号 館	4階建	0	【1階】法人事務局 【2階】学長室、副学長室、 CUANKA、中教室 【3階】中教室(4室)《遊休中》 【4階】中教室(3室)《遊休中》	【1階】法人事務局 【2階】学長室、副学長室、CUANKA、中教室 【3階】教員研究室(14室)、会議室 【4階】教員研究室(18室) バリアフリー化(エレベーター設置等) 空調改修		
2 号 館	3階建	×	【1階】学友会室(1室) 【2階】教室等《遊休中》 【3階】教室等《遊休中》	現行どおり。ただし、必要に応じて耐震改修 工事等を中長期的に検討。		
3号館	2階建	0	【1階】調理室等 【2階】大教室等	新学部棟・両大学連携施設 【1階】講義・演習室、ラーニング・コモンス 【2階】情報処理室等 バリアフリー化(エレベーター設置等) 空調改修		
4 号 館	5階建	0	【1階】講義室、図書館 【2階】PC教室、ネットワーク管理室 【3階】セミナー室 【4階】教員研究室(14室) 【5階】教員研究室(16室)	現行どおり。ただし、短期的にはエレベー ター改修、空調改修必要。		
福祉棟	2階建	0	【地階】調理実習室《遊休中》 【1階】北近畿地域連携センター 【2階】介護・福祉人材養成センター	現行どおり。ただし、今後の介護・福祉人材 養成センターの利活用については検討・調整 必要。		

②ICT環境整備【短期対応】

新学部棟及び文理連携拠点とする3号館のICT環境を早期に整備いただきたい。

2 施設整備等の概要

(2)両大学の福利厚生のための施設・設備等

①施設設備【中長期対応】

名称	階数	耐震	現況利用 状況	利活用計画
食堂	平屋建	0	食堂	現行どおり。ただし、必要に応じて設備改修工事等を中長期的に検討。
厚生棟	2階建	×	駐輪場	中長期的に取り壊しを検討
警備員室	平屋建	×	物置	中長期的に取り壊しを検討

②食堂の充実【中長期対応】

- ○両大学の学生・教職員だけでなく、将来的には地域住民も活用する地域に開かれた大学 食堂として、さらなるサービスの充実を検討いただきたい。
- 〇中長期的にはコンビニ等の誘致についても検討いただきたい。

③体育館、グラウンドの整備・充実【中長期対応】

- 〇当面は学校法人成美学園体育館を借用するが、中長期的には体育館取得も視野に入れ て検討を進めることが望ましい。
- 〇学校法人成美学園との協定のあり方についても再検討し、中長期的には公立大グラウンドを公立大・工繊大共用グラウンドとして活用できるよう、三者で協議を進めていただきたい。

④学生クラブ・サークル室【短期対応】

〇設置に向けて早期に検討を進めていただきたい。

(3) 両大学の居住環境改善のための学生宿舎等 【短期対応】

- OPFI手法等により、福知山市保有地における学生宿舎の設置について、検討いただきたい。
- ○教員宿舎よりも学生宿舎の設置を優先することが望ましい。
- 〇市内空き住宅等を活用したシェアハウス、次世代下宿「京都ソリデール」事業等の活用、 まちなみキャンパスの検討など、学生のための様々な住宅確保施策を展開いただきたい。

(4)地域連携、産官学金連携の充実に必要となる両大学へのアクセス環境

①両大学への主道路整備【中長期対応】市道小谷ヶ丘堀山線を改良し、市道荒木神社堀線と接道させることにより、市道小谷ヶ丘堀山線を両大学への主道路として位置づけ、アクセス改善に向けて着手できるものから順次実施し、中長期期間内に整備いただきたい。

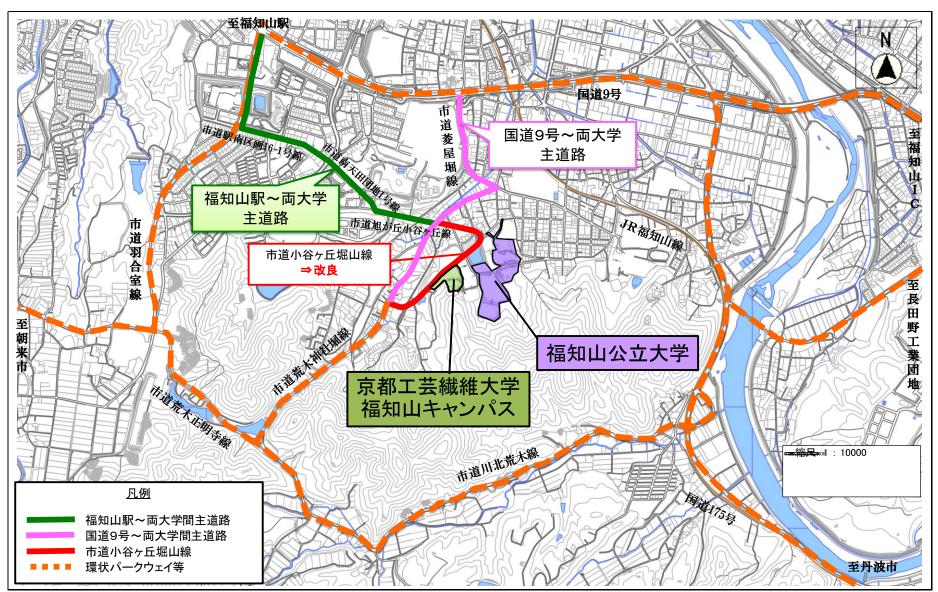
②大学内道路【中長期対応】

中長期的には京都工芸繊維大学校舎と成美学園体育館の間に大学内道路を新設し、両大学の移動の円滑化を図れるよう検討することが望ましい。

③駐車場の確保【中長期対応】 中長期的には学生、教職員、来訪者用駐車場の確保に向けて検討することが望ましい。

④公共交通の利便性向上【中長期対応】 公共交通(路線バス、鉄道等)による通学環境の利便性向上に向けて、関係機関と連携 しながら取り組んでいただきたい。

両大学へのアクセス整備網



福知山公立大学 年次計画 (案)

	1			<u> </u>						
		短期		中期			長期			
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度		平成37年度		平成39年度
収容定員	340名	410名	560名	640名	720名	800名	800名	800名	800名	800名
中期計画	() 4 [] (c)	第1期	(A D 65	(A) (B) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	### I++		第2期			
主な内容	①1号館設計 ②3号館取得 ③3号館設計	①1号館改修工事 ②3号館改修工事 ③3号館ICT環境整備	①4号館 エレベーター・ 空調改修工事	①3号館ICT環境整備 (検討事項) ②厚生棟・警備員室取り壊し ①2号館耐震改修工事等 ③体育館確保 ②福祉棟空調改修工事等 ④駐車場確保 ③食堂設備改修工事等						
	(検討事項)①クラフ	ブ・サークル室の設置(2	学生宿舎の整備		1			1		
1 号館	設計	改修工事								
2 号館	,	,					必要	 要に応じて耐震さ	改修工事等を核	討
3 号館	取得及び設計	改修工事 ICT環境整備				ICT環境氢	を備			
4号館		*	エレベーター・空調改修工事							
福祉棟			, ,	必要に応じて空調改修工事等を検討						
食 堂			新 学 部	必要に応じて設備改修工事等を検討					說討	
厚 生 棟 警備員室			" 設 置			取り壊し	•			
クラブ室	設置場所を検討し	、検討が整い次第、設置コ	事等を実施							
体 育 館								体育創	官確保	
駐車場								駐車場	。	
学生宿舎	宿舎建設を検討し	、、検討が整い次第、建設コ	事等を実施							- Ye
市道整備		市道小谷ヶ斤堀川	J線、大学内道路の整	 備(土木課対応:H2	29~)					
一定正师		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		(1			1		i J
	l			l .	l .			ı		1